

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
長野地域	長野市、須坂市、千曲市、坂城町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町、葛尾組合、北部衛生施設組合、長野広域連合	平成27年4月1日から 令和4年3月31日まで (7年間)	平成27年4月1日から 令和4年3月31日まで (7年間)

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標		現状 (割合※1) (平成25年度)	目標 (割合※1) (令和4年度) A	実績 (割合※1) (令和4年度) B	実績/目標 ※2
排出量	事業系 総排出量	54,177 t	53,639 t (-1.0%)	51,474 t (-5.0%)	500.0%
	1事業所当たりの排出量	1.988 t	1.968 t (-1.0%)	1.891 t (-4.9%)	490.0%
	生活系 総排出量	109,414 t	103,892 t (-5.0%)	99,345 t (-9.2%)	184.0%
	1人当たりの排出量	151.8 kg/人	148.5 kg/人 (-2.2%)	150.6 kg/人 (-0.8%)	36.4%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	163,591 t	157,531 t (-3.7%)	150,819 t (-7.8%)	210.8%
再生利用量	直接資源化量	18,683 t (11.4%)	18,656 t (11.8%)	14,195 t (9.4%)	-500.0%
	総資源化量	49,483 t (27.5%)	53,117 t (30.6%)	42,389 t (26.5%)	-32.3%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	12,423 MWh	51,091 MWh	66,803 MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	15,735 t (9.6%)	9,943 t (6.3%)	2,998 t (2.0%)	230.3%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	ごみの有料化	長野地域各市町村	有料化を促進することにより、排出・発生抑制に資する。	平成27年度 ～令和3年度 (平成27年度 ～令和3年度)	<p>【高山村を除く7市町村】 有料化を実施した。</p> <p>【高山村】 生ごみを村内の地力増進施設で堆肥化することにより、ごみの減量を図っている。更なる削減を目指し、有料化の必要性について将来的に検討したい。</p>
	12	環境教育の実施	長野地域各市町村	長野地域の小学生に対し、施設見学や副読本等を通して分別や資源化の大切さを普及啓発する。一般住民に対しては、施設見学や出前講座等を通して普及啓発する。	平成27年度 ～令和3年度 (平成27年度 ～令和3年度)	<p>【長野市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学（長野市資源再生センター） 小学校 306校 18,024人 一般 133団体 2,264人</li> <li>・出前講座 88回</li> <li>・生ごみ処理実践講座 128回 保育園 24回 一般 104回</li> </ul> <p>【須坂市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生を対象とした環境学習講座「エコ探検隊」を、夏休み期間中に開催した。</li> <li>・ごみ分別、減量をテーマとした出前講座を随時開催した。</li> <li>・地域の環境衛生向上のため、各自治会の衛生部長を対象に研修会を開催した。</li> </ul> <p>【千曲市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学4年生の学習教材として副読本「ごみのはなし」を毎年配布し、授業に活用してもらった。</li> <li>・小学校高学年児童及び保護者を対象として、夏休み期間にごみ処理施設見学会を実施した。</li> <li>・ごみ減量等推進員（区・自治会から推薦を受け市長が委嘱）、市女性団体連絡協議会を対象に、ごみ処理施設見学会及びごみ処理に関する学習</li> </ul>

					<p>会を実施した。</p> <p><b>【坂城町】</b> ・町内の小学校において、ごみの分別やリサイクル等について環境学習を実施。また、各自治区に出向き、ごみ減量化、資源化懇談会を実施した。</p> <p><b>【高山村】</b> ・小学校の社会科見学で地力増進施設の見学を実施するなど、環境教育や資源化の普及啓発に努めた。また、村広報誌で分別等の徹底を呼び掛けた。</p> <p><b>【信濃町】</b> ・令和2年度を除き、小学5年生を対象とした野尻湖クリーンラリー等の環境学習を実施した。</p> <p><b>【小川村】</b> ・分別講習会の開催希望があった地区に出向き、資源の大切さとリサイクルの必要性を普及啓発し、分別搬出への協力をお願いした。また、女性グループの環境問題への関心を受け、長野広域連合ごみ処理施設の現地見学を実施し、身近なごみについて学ぶ機会を提供した。</p> <p><b>【飯綱町】</b> ・分別ガイドブックにリサイクルの推進及び可燃ごみの有料化についての記事を掲載し、周知を図った。 ・可燃ごみ1か月分の委託収集量について、基準年及び前年度に対するの比較割合を町広報に掲載し、啓発を図った。 ・保全事業活動支援事業（県補助）として、町内生徒を対象に環境等学習活動を支援した。自然環境、生活環境、遺産などに興味・関心を持ち、未来の世代につなぐ意識を持たせることを目的に、主に世界の自然・環境等各種関係する図書を購入した。</p>
--	--	--	--	--	---

	13	3 R の普及活動	長野地域各市町村	広報や地域住民の協力による 3 R の啓発活動を推進する。事業所に対するパンフレットや指導により 3 R を啓発する。	平成27年度 ～令和 3 年度 (平成27年度 ～令和 3 年度)	<p><b>【長野市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、事業者、行政が目標を共有し、理解を深めるため、啓発を実施した。</li> <li>・「家庭用資源物ごみ収集カレンダー」、「サンデーリサイクルの案内」、啓発記事を掲載した「えこねこ通信」を毎年全戸に配布している。</li> <li>・ごみの減量と分別について、住民自治協議会主催の説明会に参加し啓発を行うとともに、要望がある区や自治会、団体、企業にて出前講座を実施した。</li> <li>・事業所向けリーフレット「事業所のごみの出し方」を作成し、事業所を訪問指導するとともに、食べ残しや食品ロス削減のチラシなどで 3 R 啓発活動を行った。</li> </ul> <p><b>【須坂市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市報掲載により、3 R 推進を啓発した。</li> </ul> <p><b>【千曲市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市報にて家庭ごみ排出量及び資源化について周知。その他にごみ減量、リサイクルについても随時掲載した。</li> <li>・出前講座として住民等を対象に説明会や学習会を実施した。</li> <li>・事業所向けのごみ減量、資源化パンフレットを作成し、配布した。</li> <li>・ダンボールコンポストを使用した「生ごみ堆肥化講習会」及び市民モニター制度を実施した。</li> </ul> <p><b>【坂城町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「資源物とごみの分け方・出し方・減らし方」の冊子を作成し、各戸に配布した。併せて、5 言語毎の冊子を作成し、該当する世帯に郵送した。</li> <li>・広報、ホームページを通じて啓発を実施した。</li> </ul> <p><b>【高山村】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村広報誌や回覧板等を通して啓発をした。</li> </ul>
--	----	-----------	----------	---	--	--

					<p>【信濃町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌により定期的に3Rについて啓発を実施した。</li> </ul> <p>【小川村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報、講習会等において啓発を実施した。</li> </ul> <p>【飯綱町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量化を図るため、年2回（春・秋）古着回収を継続して実施（令和3年度：10.73t）</li> </ul>
14	生ごみの堆肥化	長野地域各市町村	コンポスト容器等の購入助成を各市町村の状況に応じて実施する。	平成27年度 ～令和3年度 (平成27年度 ～令和3年度)	<p>【長野市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助台数（令和3年度実績） <ul style="list-style-type: none"> <li>ぼかし容器 14台</li> <li>コンポスト容器 71台</li> <li>電動・手動自家処理機器 188台</li> </ul> </li> </ul> <p>【須坂市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助台数（令和3年度実績） <ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化処理容器 36台</li> <li>電動生ごみ処理機 31台</li> </ul> </li> </ul> <p>【千曲市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助台数（令和3年度実績） <ul style="list-style-type: none"> <li>コンポスト容器 20台</li> <li>電動生ごみ処理機 27台</li> </ul> </li> <li>・ダンボールコンポストを使用した「生ごみ堆肥化講習会」及び市民モニター制度を実施。講習会参加者及びモニターには、ピートモス等の資材を無料提供した。</li> </ul> <p>【坂城町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助台数（令和3年度実績） <ul style="list-style-type: none"> <li>コンポスト容器 8台</li> <li>生ごみ処理機 12台</li> </ul> </li> </ul>

						<p>【高山村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみを地力増進施設で堆肥化している。</li> </ul> <p>【信濃町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助台数（令和3年度実績） <ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ処理容器 16台</li> <li>生ごみ処理機 6台</li> </ul> </li> </ul> <p>【小川村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助台数（令和3年度実績） <ul style="list-style-type: none"> <li>コンポスト容器 1台</li> <li>生ごみ処理機 1台</li> </ul> </li> </ul> <p>【飯綱町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助台数（令和3年度実績） <ul style="list-style-type: none"> <li>コンポスト容器 13台</li> <li>生ごみ処理機 1台</li> </ul> </li> </ul>
15	資源ごみの分別	長野地域各市町村	集団回収への報奨金の交付を各市町村の状況に応じて実施する。	平成27年度 ～令和3年度 (平成27年度 ～令和3年度)	<p>【長野市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新聞 3,237t</li> <li>雑誌 2,887t</li> <li>ダンボール 1,776t</li> <li>牛乳パック 68t</li> <li>缶（アルミ・スチール） 129t</li> <li>布類 64t</li> <li>びん類 59t</li> </ul> <p>【須坂市】</p> <p>対象品目：古紙類（新聞、雑誌・雑紙、ダンボール、紙パック）、金属類、繊維類、びん類 令和3年度実績 635,927 kg</p> <p>【千曲市】</p> <p>対象品目：新聞、雑誌、チラシ、ダンボール、紙パック、古布、アルミ缶、スチール缶、一升びん 令和3年度実績 371,396 kg 1,499本（一升びん）</p>	

						<p><b>【坂城町】</b> 対象品目：紙類（新聞・雑誌・ダンボール・紙パック等）古布類、缶、びん等 令和3年度実績：123.187t</p> <p><b>【飯綱町】</b> 小学校PTA及び地区育成会による集団資源回収に対し、助成を行っている。 （令和3年度：50.39t ・ 98,620円）</p>
16	マイバッグ運動・レジ袋対策の検討	長野地域各市町村	店舗や消費団体と協力し、マイバッグの持参運動を推進する。	平成27年度 ～令和3年度 （平成27年度 ～令和3年度）	<p><b>【長野市】</b> ・ながの環境パートナーシップ会議「レジ袋使用削減プロジェクトチーム」との協働により、平成15年6月から取り組みを開始し、キャンペーン啓発（毎月5日「ノー・レジ袋デー」）や、マイバッグの持参率調査などの普及啓発活動を行った。 ・本市のマイバッグ持参率は、令和2年3月調査の65.4%からレジ袋有料化（令和2年7月）後の令和3年3月調査の94.7%へと、29.3%上昇したことから、マイバッグ持参率調査については、一旦、終了とした。</p> <p><b>【須坂市】</b> ・市報掲載によりレジ袋削減、マイバッグ持参を周知した。 ・市内スーパーにてマイバッグ持参率調査を実施した。</p> <p><b>【千曲市】</b> ・小学校4～6年生を対象に、手作りマイバッグコンテストを開催した。 ・市内スーパーマーケット店舗にてマイバッグ持参啓発及び持参率調査を実施した。 ・こども環境サミット等の各種イベントで啓発活動を実施した。</p>	

						<p><b>【坂城町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内スーパー店舗前にてマイバッグ持参啓発を実施した。</li> <li>・町内スーパー、コンビニでのマイバッグ持参率調査を実施した。</li> </ul> <p><b>【飯綱町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌等でマイバッグ持参、レジ袋削減についての記事を掲載した。</li> </ul>
処理体制の構築、変更に関するもの	21	施設整備に伴う分別区分の変更	長野地域各市町村及び長野広域連合	広域化に向けた分別区分の検討を行う。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	長野広域連合の焼却施設では、各市町村の分別による「可燃ごみ」を処理することとした。
	22	事業系ごみの排出事業者の処理計画策定	長野地域各市町村	多量排出事業者に対する減量計画書の作成・計画管理を長野地域内に広げる。ごみ受け入れ時の分別指導も強化する。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	<p><b>【長野市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減量計画書の提出を促し、必要に応じて事業所への調査を実施</li> <li>※新型コロナウイルス感染症拡大により、令和元～3年度にかけては調査未実施</li> <li>・分別指導について、上記調査時及びごみ処理施設での展開検査において指導を実施</li> <li>※新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2～3年度にかけて展開検査の実施回数が減少</li> </ul> <p><b>【須坂市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・500 kg/月以上の多量排出事業者には計画書を提出するよう定めている。</li> </ul> <p><b>【千曲市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月の平均排出量が1,500 kgを超える多量排出事業者には、毎年度計画書の提出を義務付けている。また、訪問の上、現状ヒアリングや分別及び減量の指導を実施した。</li> </ul> <p><b>【坂城町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可燃ごみを大量に排出する事業者に対し、事業所の責務、ごみの減量化・資源化の取り組みにつ</li> </ul>



						いて、説明を実施した。  【飯綱町】 ・事業者にも毎月の収集実績として報告書を提出してもらい、ごみ量を把握している。また、有効活用できるよう推進する。
処理施設の整備に関するもの	1	A 焼却施設整備	長野広域連合	長野市に 405t/日の高効率ごみ発電施設を整備する。	平成27年度 ～平成30年度 (平成27年度 ～令和元年度)	ながの環境エネルギーセンターとして、平成 31年 3 月稼働開始
	2	B 焼却施設整備	長野広域連合	千曲市に 100t/日のエネルギー回収型廃棄物処理施設を整備する。	平成29年度 ～令和 4 年度 (平成29年度 ～令和 4 年度)	第 3 期計画の中で整備完了(ちくま環境エネルギーセンターとして、令和 4 年 6 月稼働開始)
	3	最終処分場整備	長野広域連合	須坂市に 85,000 m <sup>3</sup> の最終処分場を整備する。	平成28年度 ～令和 2 年度 (平成28年度 ～令和 2 年度)	長野広域連合一般廃棄物最終処分場(愛称:エコパーク須坂)として、令和 3 年 2 月埋立開始
	4	マテリアルリサイクル推進施設整備	長野市	マテリアルリサイクル(剪定枝、古紙、廃タイヤ、金属類等)推進施設の整備を行う。	令和元年度 ～令和 2 年度 (令和元年度 ～令和 2 年度)	ストックヤード建設・旧清掃センター焼却施設解体工事を実施
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1 の計画支援	長野広域連合	施設整備に必要な計画支援業務を行う。	平成27年度 ～平成28年度 (平成27年度 ～平成28年度)	整備に係るアドバイザー業務、土壌汚染地歴調査業務、土壌汚染表土調査業務、土壌汚染詳細調査業務
	32	2 の計画支援	長野広域連合	施設整備に必要な計画支援業務を行う。	平成27年度 ～平成29年度 (平成27年度 ～平成29年度)	測量調査業務、整備に係るアドバイザー業務、用地測量業務

	33	3の計画支援	長野広域連合	施設整備に必要な計画支援業務を行う。	平成27年度 ～平成29年度 (平成27年度 ～平成29年度)	用地測量外業務、施設整備計画作成外業務、実施設計業務
	34	4の計画支援	長野市	施設整備に必要な計画支援業務を行う。	平成30年度 (平成30年度)	設計支援業務(整備基本計画、配置計画、施設計画図、既存施設の現況調査、アスベスト調査等工事発注に関する支援)
その他	41	再生利用品の需要拡大事業	長野地域各市町村及び長野広域連合	スラグの有効利用について、他都市の情報収集を行う。利用促進のための関係部署への働きかけを行う。溶融しない灰等の資源化を行う。	平成27年度 ～令和3年度 (平成27年度 ～令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ながの環境エネルギーセンターで発生したスラグはJIS認証を取得し、コンクリート二次製品等への有効利用を図っている。</li> <li>・上記以外の副生成物は、民間事業者に委託して資源化を図っている。</li> </ul>
	42	廃家電・使用済み小型家電のリサイクルに関する普及啓発	長野地域各市町村	廃家電リサイクルの品目や処分方法について、広報等を通じて広く住民への啓発を行う。	平成27年度 ～令和3年度 (平成27年度 ～令和3年度)	<p><b>【長野市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭用資源物とごみの出し方(保存版)」、「家庭用資源物ごみ収集カレンダー」、「ごみの出し方(転入者用)」への掲載</li> <li>・「サンデーリサイクルと小型家電回収」のチラシを全戸に配布</li> <li>・広報誌、TV・ラジオなどにより周知</li> </ul> <p><b>【須坂市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年全戸配布するごみカレンダー、年2回の隣組回覧、分別パンフレット、ホームページなどにより、家電リサイクルを啓発</li> </ul> <p><b>【千曲市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット「家庭ごみ・資源物出し方」(全戸配布)、ホームページに掲載</li> <li>・粗大ごみ収集日に家電4品目の回収を併せて実施(有料)</li> <li>・年4回使用済み小型家電のイベント回収(無料)を実施</li> <li>・市内3か所に小型家電回収ボックス(無料)を設置</li> </ul>

					<p><b>【坂城町】</b>  ・冊子「資源物とごみの分け方・出し方・減らし方」を作成し、各戸に配布。併せて、5言語毎の冊子を作成し、該当の冊子を世帯に郵送  ・広報、ホームページを通じた啓発を実施</p> <p><b>【高山村】</b>  ・ごみ搬出カレンダー、広報による周知を実施</p> <p><b>【信濃町】</b>  ・ごみの分別区分の手引きにて啓発を実施</p> <p><b>【小川村】</b>  ・広報紙などにより啓発を実施</p> <p><b>【飯綱町】</b>  ・小型家電回収を継続して実施（平日午前9時～午後5時）  ・令和4年3月に小型家電ステーションが設置され、更なる収集が見込まれる。（R3：10.98t）</p>
43	不法投棄対策	長野地域各市町村	地域住民と協働で不法投棄の監視を行い、パトロールの強化等により、不法投棄防止を図る。	平成27年度～令和3年度（平成27年度～令和3年度）	<p><b>【長野市】</b>  ・環境部職員、民間委託による定期的なパトロールを実施し、不法投棄物の早期発見、早期回収に努めた。  ・不法投棄の常習性が高い場所に監視カメラ、啓発看板を設置し、監視体制の強化を図るとともに、投棄防止ネットを設置することで投棄防止を行った。</p> <p><b>【須坂市】</b>  ・定期的な不法投棄監視パトロールを実施し、早期発見、回収に努めた。  ・公募による市民ボランティアパトロール員を置き、地域住民と協働で監視した。  ・監視カメラ（ダミーカメラ）設置や市民への啓</p>

					<p>発看板配布により、未然防止に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシを隣組回覧し不法投棄防止を啓発</li> </ul> <p><b>【千曲市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄防止看板を設置</li> <li>・監視カメラを設置</li> <li>・不法投棄防止パトロール（月 12 日程度）を実施</li> <li>・区長会連合会と共催で「千曲川クリーン作戦」（河川清掃）を毎年 6 月第 3 日曜日に実施</li> </ul> <p><b>【坂城町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な不法投棄パトロールを実施し、不法投棄物の早期発見、早期回収に努めるとともに、看板を設置し、不法投棄防止を図った。</li> </ul> <p><b>【高山村】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄防止看板の設置やパトロールを実施</li> </ul> <p><b>【信濃町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー人材センターを活用し、不法投棄パトロールを実施</li> <li>・ながの電子申請を活用し、不法投棄を発見した際に通報できるサービスを実施</li> </ul> <p><b>【小川村】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄多発地区の定期的なパトロールを実施し、不法投棄物の早期発見、早期回収に努めた。</li> </ul> <p><b>【飯綱町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄対策業務として、長野シルバー人材センターに委託し、4 月から 11 月末までの間、週 1 回の町内巡回、不法投棄物の発見及び回収を行い、環境保全を図る。</li> </ul>
44	災害時の廃棄物処	長野地域各市町村及び長野	市町村が作成した地域防災計画や災害ごみ処理計画に	平成27年度 ～令和3年度	<b>【長野市、須坂市、千曲市、信濃町、飯綱町】</b> 災害廃棄物処理計画を策定済

		理に関する事項	広域連合	に基づき、災害時に発生する廃棄物の保管・処理体制を整備する。	(平成27年度～令和3年度)	<p>【坂城町】 令和4年度、災害廃棄物処理計画(案)の策定を進めている。</p> <p>【高山村】 災害廃棄物処理計画(案)の早期策定に向け、検討を進めている。</p> <p>【小川村】 令和5年3月に策定した。</p> <p>【長野広域連合】 ながの環境エネルギーセンターでは、令和元年東日本台風により発生した災害廃棄物の処理を行った。</p>
--	--	---------	------	--------------------------------	----------------	--

### 3 目標の達成状況に関する評価

<p>【排出量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総排出量については、事業系、家庭系ともに目標を達成する結果となった。構成市町村の発生抑制、再使用の推進に関する施策や事業者への排出指導の効果によるものとする。</li> <li>・1人当たりの排出量(生活系)については、基準年度(平成25年度)からは1.2kgの減少となったが目標達成には至らなかった。ごみ減量への意識は高まっていると思われるが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う影響により家庭で過ごす時間が増えたことで、ごみ量の減少幅も少なくなったものと推察される。</li> </ul> <p>【再生利用量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、小売店が店頭で資源物を回収するなど、リサイクルに貢献した活動が増加していることから、小中学校や自治会等が実施している資源物の集団回収を含めた収集量が減少し、目標達成に至らなかった(全体に対する割合の減少)ものとする。</li> </ul> <p>【エネルギー回収量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年3月にながの環境エネルギーセンター、令和4年6月にちくま環境エネルギーセンターが稼働を開始したことにより、基準年度(平成25年度)と比較して大幅な増加となった。</li> </ul> <p>【最終処分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに整備した2か所の焼却施設から発生する焼却残さ(焼却灰等)について、併設の熔融炉でスラグ化してコンクリート二次製品等に活用するなど、その70%以上を資源化して埋立最終処分量の削減に取り組むことで、目標を大きく上回る結果となった。</li> </ul>
---

(都道府県知事の所見)

事業系総排出量、生活系総排出量及び埋立最終処分量について着実に減少し、またエネルギー回収量は大幅に増加し、目標を達成している。これは、各市町村及び長野広域連合の適正処理・4R（3R+リプレイス）に係る各施策等の効果によるものと考えられる。

県としては、地域の4R（3R+リプレイス）を推進するため、必要に応じて市町村等に対して技術的助言を行うなど、今後とも市町村等と連携を図りながら、県内廃棄物の発生抑制や適正処理に努めてまいりたい。